

# 巖檻

第 83 号

開学 80 周年及び畠傍山キャンパスオープン記念号



奈良県立医科大学医学部医学科同窓会



# 目次

卷頭言 つながりの力を未来へ	副会長（会計担当）（昭和59年卒）浅田 秀夫	3
<b>開学80周年および歎傍山キャンパスオープン記念特集</b>		
奈良医大の黎明期アルバム		5
時計台とモニュメント「愛」のお披露目および記念植樹が行われました	（昭和49年卒）高橋 優三	11
開学80周年及び歎傍山キャンパスオープン記念式典	（昭和49年卒）高橋 優三	12
若手世代が語る「働き方」のリアル	（令和2年卒）階戸 尊	14
過去を知り 現在を理解し 未来を語る 開学十五周年記念特集を読んで		
（平成28年卒）山岡美奈子 （平成31年卒）大橋 智仁 （令和5年卒）鈴木裕太郎		
（医学科4年生）寺谷 仁良 （医学科4年生）上田玲央斗		
同窓会報との関わり	（昭和43年卒）北村 弥	22
奈良医大医学部医学科女性同窓生のこれまでとこれから	（平成3年卒）須崎 康恵	23
新キャンパス紹介	（医学科1年生）大友 弘一	26
歎傍山キャンパス体育棟において新道場こけら落としが開催されました	（昭和40年卒）小味渕智雄	28
歎傍山キャンパス「新弓道場開き式」開催のご報告	（平成7年卒）杉江 和馬	30
歎傍山新キャンパスの土俵開き	（平成25年卒）長谷川英雄	32
奈良から世界へ 1000人の学歌合唱レコーディングに参加して	（平成11年卒）早田 義宏	33
創立80周年に寄せて	（昭和39年卒）山本 公弘	34
令和7年奈良県立医科大学医学部医学科同窓会代議員会・総会		
令和7年 定例代議員会・通常総会が開催されました	（昭和49年卒）高橋 優三	41
総会 学長挨拶	（昭和50年卒）細井 裕司	44
代議員会 会長挨拶	（昭和49年卒）高橋 優三	47
総会記念講演 マクロファージによる炎症誘発メカニズムに魅せられて		
日本医科大学医学部 微生物学・免疫学 大学院教授	（令和7年卒）森田 林平	48
令和7年 定例代議員会		53
令和7年 通常総会		58
令和6年度 収支決算書、財産目録、監査報告書		61
令和7年度 予算書		64
副会長に就任して	（平成5年卒）葛本 幸康	68
副会長に就任して	（平成7年卒）杉江 和馬	69
理事に就任して	（平成3年卒）小畠 康宣	70
理事に就任して	（平成5年卒）西本 和央	71
理事に就任して	（平成9年卒）福田多介彦	72
理事に就任して	（平成26年卒）田崎 光	73
令和7年度 阪奈会通常総会を開催	（昭和57年卒）澤田 秀智	74
91回、92回阪奈会ゴルフコンペ	（昭和60年卒）妻谷 憲一	76
堺地区奈良医大同窓の会の報告	（昭和62年卒）石田佳代子	78
42年卒「みやま会」、2年ぶりに開催！	（昭和42年卒）片桐 真二	79
全員が傘寿を迎えた45同窓会を開きました	（昭和45年卒）塚本 澄雄	80
「今年も元気で集まれた」 昭和47年卒 同窓会	（昭和47年卒）村田 省吾	81
昭和51年卒の同窓会報告（卒後50年）	（昭和51年卒）大久保芳明	82
平成6年卒同窓会	（平成6年卒）堀 謙輔	84
平成7年卒クラス同窓会	（平成7年卒）齊藤 正幸	85
教授就任のご挨拶	解剖学第二講座 教授 服部 刚志	87
平成7年度 「自治体立優良病院 総務大臣表彰」受賞のご報告と御礼	（平成3年卒）小畠 康宣	88
富士フィルムフォトサロンでの写真展を終えて	（昭和58年卒）竹川 隆	90
紹綬褒章を受章して	（平成元年卒）沢田 泉	91
第77回西日本医学生大会を終えて	（医学科4年生）麻生 直矢	92
令和7年度白檀生祭のご報告	（医学科5年生）竹嶋 上晴	94
令和8年 定例代議員会・通常総会のお知らせ・ホームカミングデイ		96
未来への飛躍基金など		97
各学年別終身会費完納率		99
理事会報告		100
同窓会だより・会員のひろば		102
物故者・編集後記		103
祝賀広告		104
広告 未来への飛躍基金		108

**同窓会報名「厳檜（いつかし）」の由来**

厳檜とは、神聖な檜の木のこと。本学のある一帯は、古代に「嚴檜がもと」と呼ばれていた。また、古代の人々は常緑で固い檜に託して「命の無事」を祈った。「嚴檜がもと」にあり、「命の無事」に貢献する本学を表している。

同窓会 Web サイト  
へのリンク ➔


**◆表紙説明**

歎傍山キャンパスの写真是、医学科1年生の大友弘一さんから提供して頂きました。古い校舎の写真是、本誌に掲載の黎明期アルバムの写真より、四条キャンパスの写真是医学科同窓会のホームページより、それぞれ選びました。

提供して頂きました方々、ありがとうございます。

## つながりの力を未来へ—80周年と新キャンパス移転

副会長（会計担当） 浅田秀夫  
(昭和59年卒)



朝夕に秋の気配がいよいよ濃くなってまいりましたが、同窓の皆さんにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より奈良県立医科大学医学部医学科同窓会の活動に、あたたかいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、奈良医大は創立80周年という大きな節目を迎えました。さらに母校では、新キャンパス（畝傍山キャンパス）への移転が着実に進められております。すでに教養課程と看護学科が先行して授業を開始し、今後は医学科の本格移転も予定されています。新駅の設置や附属病院新A棟の開設、さらには周辺地域を含めたまちづくり構想と相まって、新キャンパスは教育・研究・地域連携の拠点として、これまで以上に発展することが期待されます。

一方で、旧キャンパス（四条キャンパス）は、私たちにとって青春の記憶が詰まった大切な場所です。大学の姿は時代とともに変わりますが、共に学んだ仲間の姿や過ごした時間は決して色褪せることはありません。今号の会報が、そうした思い出を呼び起こすきっかけにもなれば幸いです。

同窓会としても、この歴史的な節目にあたり、あらためて“つながり”を見直し、次の時代へと受け継いでいく役割が求められています。会員構成の多様化や若手世代との接点の希薄化、会費納入率の低下など、課題は少なくありません。だからこそ世代を越えて支え合う“同窓の力”的意味が、かつてないほど大きくなっていると感じます。

私はこのたび、会計担当副会長を拝命いたしました。前任の小林信彦先生の誠実なお働きを引き継ぎ、事務局と協力しながら、持続可能な財政基盤の確立と適正な会計運営に努めてまいります。とくに、80周年を契機とした広告・寄附制度の整備と強化、支出の効率化、そして会費納入の一層の奨励を通じて、将来を担う世代に安心してバトンを渡せる同窓会を築いていきたいと考えております。

若い世代にとって同窓会は遠い存在に思えるかもしれません。しかし、ここには困った時に助けてくださる先輩がいて、努力を認め合う仲間がいて、後輩を励まし導く伝統があります。学年や診療科を越えて結びつくこのネットワークは、私たち医療人にとって確かな心の拠り所となると信じています。

本会報が、皆さまの心に“つながりの灯”をともす一助となり、母校との絆をあらためて感じていただければ幸いです。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。